

令和元年度

# 幼稚園だより 11月号



文京区立小日向台町幼稚園

## 仲間と考えや力を出し合うことの喜び

園長 吉羽 優子

今秋の台風15号・19号の猛威による被害の爪痕が関東地方でもいたるところに残っている中、大雨が続いています。本園のご家族の中にも水害等の被害に遭われた方がいらっしゃるかと伺いました。お見舞いを申し上げるとともに一刻も早い復旧を願ってやみません。

さて、台風の影響から延期した運動会でしたが、早朝よりたくさんのお父様方に準備を手伝っていただきました。お父さんの会のネットワークの強さ、迅速な協力体制に感謝申し上げます。当日は残念ながら雨となってしまいましたが、小学校の校長、副校長先生のご厚意をいただき、体育館をお借りして最後まで運動会を実施することができました。保護者の皆様の熱い声援の中、子どもたちが全力でパフォーマンスを發揮できた運動会となりました。皆様の温かいご協力なくしては成し遂げられなかったと感謝いたします。

未だ、運動会の興奮冷めやらずの子どもたちです。繰り返しリレーで競い合っていた年長組は、運動会が終わっても対戦チームを組み替えたり、走順を変えたりしながら、毎日リレーを楽しんでいます。また、リズム表現を下の学年の子どもたちに披露したり、時には一緒に踊ってみたり、小学生がやっていた競技を再現して挑戦してみたりと、様々な運動遊びを楽しんでいます。運動会を起点として前後に楽しんでいる様子から、子どもたちにとって、行事はその日一日だけのものではないということが分かります。運動会という行事への取り組みを通して、体を動かす心地よさを十分感じたり、みんなで行くことの楽しさや満足感を得たり、仲間と協力して最後まであきらめずに取り組む充実感を味わったりすることができました。どの子どもたちも1学期の頃のあどけない表情が、自信に満ち溢れた表情に変化しています。成長著しい子どもたちの姿に出会えることに幸せを感じます。

また、10月20日(日)には青柳小学校・青柳幼稚園にて、東京都公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会、東京都国公立幼稚園・こども園長会主催の都幼P親子フェスタが盛会のうちに終わりました。都内の公立幼稚園のPTAの方々が、子どもたちのために会場いっぱい遊び場を作り、親子の触れ合いや子育てのヒントとなるようにと願って16年前に始まったイベントです。文京区の遊び担当は「豆つかみ」だったのですが、ゲーム感覚で箸の持ち方や扱い方の勉強になる、と大好評でした。ここでも文京区内のPTA連合のお母様方が盛り上げてくださり、1,100人余りの親子が一日中様々な遊びを楽しむことができました。ここでも保護者の皆様の総力が集まって、大きなイベントを成し遂げることができ、感謝でいっぱいの思いです。遊びに来てくださった方々、ありがとうございました。

お父さんやお母さんが自分たちのために協力して取り組んでくださる姿を、子どもたちはよく見えています。それがモデルとなって子どもたちも仲間と共に考えを出し合い、力を合わせて協同する姿につながっていくのです。

今月は、年長組が遠足の共通体験をもとに「ゆうえんちごっこ」に取り組み始めました。どんなアイデアを出し合って、やり遂げていくのか、子どもたちの満足感あふれる笑顔も見られることでしょう。年中組、年少組もお客さんになります。ぜひお楽しみに！

【文京名物！豆つかみ&BUNレンジャーとの触れ合い】

